

明保通信

<http://www.nishitokyo.ed/j-meihou>

2月号 令和2年2月14日

スキー教室で得られたもの

スキー担当

1月17日から19日までの3日間に渡って、中学校生活はじめての宿泊学習となるスキー教室が行われました。3日間の菅平高原スキー場は天候にも恵まれ、大きなトラブルも無く、参加生徒全員が無事にスキー教室を終えることができました。今回のスキー教室のスローガンは『自成磨錬』（じじょうまれん）という造語です。スキー教室を通して「自」分自身を「成」長させ、集団生活によって学年全体を「磨」き上げるとともに、心と身体を鍛「錬」する という思いが込められています。10月の事前学習から始まり、そこからの4か月間で、生徒たちが得たもの、個や学年を大きく成長させてくれた経験について振り返ります。

「できない」が「できる」に変わる瞬間

事前アンケートでスキーの経験について尋ねたところ、学年の半数以上の生徒が「未経験」または「ほとんど無い」と答えていました。楽しみな気持ちよりも、うまく滑れるか不安な気持ちの方が大きかった生徒もたくさんいたのではないのでしょうか。開校式を終えるとすぐに最初のスキー実習が始まりました。インストラクターの方々の明るく的確な指導のおかげもあり、生徒の不安な表情はすぐに晴れたように思えます。また、初日は転んでしまう生徒も多かったのですが、転んだ生徒を班員同士で支え合い、助け合う姿に心を打たれました。最終日には全員がリフトに乗ることもできました。これまで経験したことのない急斜面を滑り終えたときの表情は安堵感と達成感に満ち溢れていました。学校生活においても、できなかったことができるようになるという経験は貴重なものです。3日間の実習でこれほどまでスキーが上達したということは、生徒一人一人の自信につながるとともに、かけがえのない思い出になったと思います。

事前学習とのつながり

生徒が3日間で経験したことはスキー実習だけではありません。西東京市から約140km離れた菅平高原の環境や文化の違いも知ることができました。特に1日目の夕食の際にサプライズで出された”イナゴの佃煮”を目の当たりにした時の生徒の反応は凄まじいものでしたが、「勇気を出して食べてみたら美味しかった」「煮干しに食感が似ている」などの声が上がりました。

事前学習では『スキー教室×○○』というテーマのもと、スキー教室と関連する内容について自分で調べ、学級内で発表を行いました。スキー教室と関連して長野県の郷土料理について調べる生徒もいれば、雪の結晶、安全なリフトの乗り方、朝早く起きる方法について調べる生徒もいたりときまざりでした。こうした一人一人の事前学習が当日のスキー教室をより一層充実させてくれたように思います。（ちなみに「イナゴ」もスキー教室が行われた長野県と深く関連しており、主に長野県や群馬県などの海産物の少ない山間部の地域では、貴重なタンパク源として古くから食用とされてきました。）

『プロ意識』について学ぶ

スキー教室のしおりには、「今日のプロ意識」という欄を設けました。1日ひとつの職業に注目し、その仕事の様子に感じた熱意やこだわりを記録する欄です。生徒はそれぞれ、バスガイドや運転手、宿舎のフロントスタッフや調理師、インストラクター、看護師、カメラマンなど、3日間のスキー教室の中で関わったさまざまな職業に注目していました。事後学習で考えた『プロフェッショナルとは?』という問いに対する答えとして多く挙げた意見は「他人のために行動すること」というものでした。充実したスキー教室を無事に行うことができたのも、こうした多くの『プロフェッショナル』の支えがあったことだと気付いたはずですが。学校生活においても、班活動や委員会などで自分が担当している役割を『プロフェッショナル』として責任をもって果たすことが、この先迎える進路や職業を決定していく上でも重要な姿勢になるのではないのでしょうか。

おわりに

スキー教室に向けた各ご家庭での準備など、ご理解ご協力いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。レク係によるレクリエーションや早朝に行われた百人一首大会など、スキー以外のイベントも充実しており、密度の濃い3日間を過ごすことができました。また、食事の集合時間や就寝時間をしっかり守ろうと班で互いに声を掛けあう姿は立派で、『自成磨錬』というスローガンのもと、個人としても学年としても大きく成長する機会になったと思います。数か月後には2年生になり、先輩となります。今回のスキー教室で得た貴重な経験や結束力を、来年度以降も発揮してほしいと願っています。

♥3日間のスキー教室の様子はホームページをご覧ください。こちらのQR CODEから⇒

※スキーをしている動画もあります。



◇2月・3月の主な予定◇ 予定の変更は担任等から連絡いたします。

| 月 | 日 | 曜 | 内容 | 月 | 日 | 曜 | 内容 |
|----|----|---|-------------|----|----|---|-------------------|
| 2月 | 14 | 金 | あいさつ運動終わり | 2月 | 27 | 木 | 学年末考査 英・保体・技/家 給食 |
| | 17 | 月 | 全校朝礼 | | 28 | 金 | 東小児童合唱見学 |
| | 18 | 火 | 試験一週間前 | 3月 | 2 | 月 | 全校朝礼 都立一般発表(3年生) |
| | 19 | 水 | 一斉委員会 | | 5 | 木 | 合唱コンクール |
| | 21 | 金 | 都立一般入試(3年生) | | 6 | 金 | 都立二次出願 |
| | 22 | 土 | 都立一般入試(3年生) | | 9 | 月 | 生徒会朝礼 |
| | 25 | 火 | 学年末考査 社・国・音 | | 10 | 火 | 都立二次入試 |
| | 26 | 水 | 学年末考査 理・数・美 | | 11 | 水 | 一斉委員会 避難訓練 |

◇中学生「東京駅伝」大会開催される◇

今年で11回目となる大会で、平成22年から中学2年生を対象とし、学校や部活動の垣根を越え、区市町村単位で男女それぞれの選抜チームを結成し、42.195キロメートルを襷でつなぐ、区市町村対抗の駅伝競走として開催しています。各中学校や区市町村の予選会をはじめとした、東京駅伝への様々な取組を通じて、多くの中学生が、より高い目標に向かって切磋琢磨し、持久力や頑張り通す忍耐力をはぐくむことにより、中学生全体の体力と精神力の向上を図っているものです。

今年の大会は例年通り、令和2年2月2日(日曜日)にアミノバイタルフィールド(味の素スタジアム内)・都立武蔵野の森公園特設周回コースを使って行われ、午前10時にスタートした女子の部では、30kmを16人(第1区~第10区1.5km、第11区~第16区2.5km)で行い、午後1時からの男子の部では、フルマラソンと同じ42.195kmを17人(第1区2.195km、第2区~第9区2km、第10区~第17区3km)で争われました。本校からも2年生が選抜され、各区間で活躍しました。選抜されたメンバーは2年生男子3人、女子は森4人の合計7人です。特に男子の1区では区間の6位のタイムで距離別の入賞者となりました。

どの選手も懸命に走り襷をつなげた順位は、女子22位、男子25位、総合25位(いずれも参加区市町村50地区中)でした。

←♥詳しい様子は明保中学校HPへ

各区間を走った本校の選手たち

